

2022年3月31日

各位

株式会社三井住友銀行

東京センチュリー株式会社への
シンジケーション形式によるサステナビリティ・リンク・ローンの組成について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、東京センチュリー株式会社（代表取締役社長：野上 誠）に対し、シンジケーション形式によるサステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）（以下、「本シローン」）を組成いたしました。

SLL は、借り手のサステナビリティ戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）を設定し、貸出条件と SPTs に対する借り手のパフォーマンスとを連携させ、SPTs 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

東京センチュリー株式会社はリースを祖業とし、「事業の成長に挑戦するお客さまとともに、環境に配慮した循環型経済社会の実現に貢献」することを経営理念に掲げるとともに、10年後の未来を想定し、必要とされる金融・サービスの創出を指向するバックキャスティングのもと、サステナビリティ経営を推進されております。本 SLL で設定する 3 つの SPTs を達成することは、東京センチュリー株式会社のマテリアリティである「脱炭素社会への貢献」および「人材力強化につながる職場環境整備」等に資するものです。また、本件では、SPTs 達成への動機付けとして、SPTs の達成度合いに応じて金利条件が連動する貸出条件が設定されています。

- SPT-1 2023年12月末までに二国間クレジット制度（JCM）の想定 GHG 削減貢献量（累計）目標 49,000t を達成
- SPT-2 従業員の年次有給休暇取得率 70%以上を維持
- SPT-3 従業員の男性育児休業取得率 100%を維持

本 SLL は、国際金融業界団体の LMA（Loan Market Association）、LSTA（Loan Syndications and Trading Association）及び APLMA（Asia Pacific Loan Market Association）にて策定された「サステナビリティ・リンク・ローン原則（2021年5月改定）」及び環境省にて策定された「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（2020年版）」との適合性及び設定した目標の合理性について、第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）から「セカンドオピニオン」を取得しています。

SMBC グループでは 2021年7月27日に「SMBC Group GREEN Innovator」のコンセプトを公表し、社会のサステナビリティをお客さまとともに実現するためのサービス・商品の提供に一層注力してまいります。また、株式会社三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会および市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

【本シローンの概要】

契約締結日	2022年3月28日
実行日	2022年3月31日
アレンジャー	株式会社三井住友銀行
コ・アレンジャー	株式会社群馬銀行
エージェント	株式会社三井住友銀行
組成金額	530億円
契約期間	3年9ヵ月

(参考)

東京センチュリー株式会社ホームページ ニュースリリース一覧：

<https://www.tokyocentury.co.jp/jp/ir/release/>をご参照下さい。

株式会社格付投資情報センター (R&I) による「セカンドオピニオン」の詳細：

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/sustainabilityfinance/index.html>をご参照下さい。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

ホールセール統括部 サステナブルビジネス推進室

TEL：03-4333-6966

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。